

沼田町地域公共交通活性化協議会 平成20年3月21日設置



概要

沼田町は、3系統の町営バスが町内の公共交通の中心となっているが、運行間隔の長さから利便性が低いほか、町営バスではカバーしきれない公共交通空白地域がみられ、特に、高齢者等の外出手段が限定された状況にある。このため、公共交通の利便性の向上を目指し、バス路線の再編、スクールバスの活用、デマンドバス導入等の調査検討を実施する。

○地域公共交通の現況

- ・JR留萌本線(石狩沼田駅、恵比島駅、真布駅)
- ・(株)空知中央バス(沼田駅前ー深川市立病院前)
- ・町営バス(1系統)
- ・スクールバス(4本)

○地域公共交通の課題

- ・町営バスの運行間隔が長い(利便性が低い)
- ・公共交通空白地域の存在
- ・高齢者等の外出対策

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・公共交通の利便性向上の方策の検討

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・バス路線の再編の検討
- ・スクールバスの活用の検討
- ・デマンドバスの導入の検討

